

Doctor's Dilemma Competition

ACP Japan Chapter Annual Meeting 2024





• 自由記述問題1問

答えの記載例

チーム名

@@病院

かけ点

1500点

回答

ACP症候群

DOCTOR'S DILEMMA

最終問題
出題
志水 英明



29歳 男性

車庫の床に無気力に座っているのを発見され救急搬送、近くに自動車用冷却剤の空の容器が置かれていた。

身体所見

体温 37.4℃、血圧108/58 mm Hg、脈拍:118/分、呼吸数26/分、酸素飽和度 99% (RA)

大きな声で呼びかけに反応するが、従命不能

Cr	1.3m g /dL
Glu	正常
Na	138 mEq/L
K	4.8 mEq/L
Cl	104 mEq/L
HCO ₃	12 mEq/L
浸透圧Gap	20
乳酸	正常

動脈ガス

pH	7.25
PCO ₂	28
PO ₂	98

適切な治療は



Answer



29歳 男性

車庫の床に無気力に座っているのを発見され救急搬送、
近くに自動車用冷却剤の空の容器が置かれていた。

身体所見

体温 37.4℃、血圧108/58 mm Hg、脈拍:118/分、呼
吸数26/分、酸素飽和度 99% (RA)

大きな声で呼びかけに反応するが、従命不能

Cr	1.3m g /dL
Glu	正常
Na	138 mEq/L
K	4.8 mEq/L
Cl	104 mEq/L
HCO ₃	12 mEq/L
浸透圧Gap	20
乳酸	正常

動脈ガス	
pH	7.25
PCO ₂	28
PO ₂	98

適切な治療は

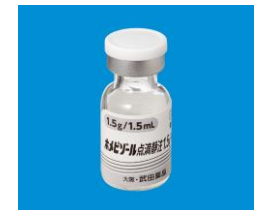
ホメピゾール
+
血液透析

ホメピゾール：アルコール脱水素酵素阻害剤
エチレングリコール・メタノール中毒用剤

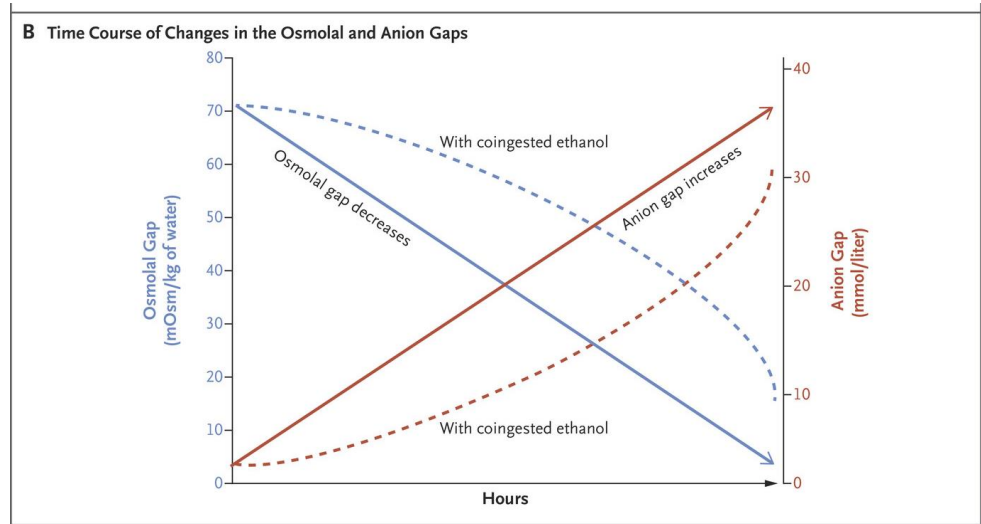
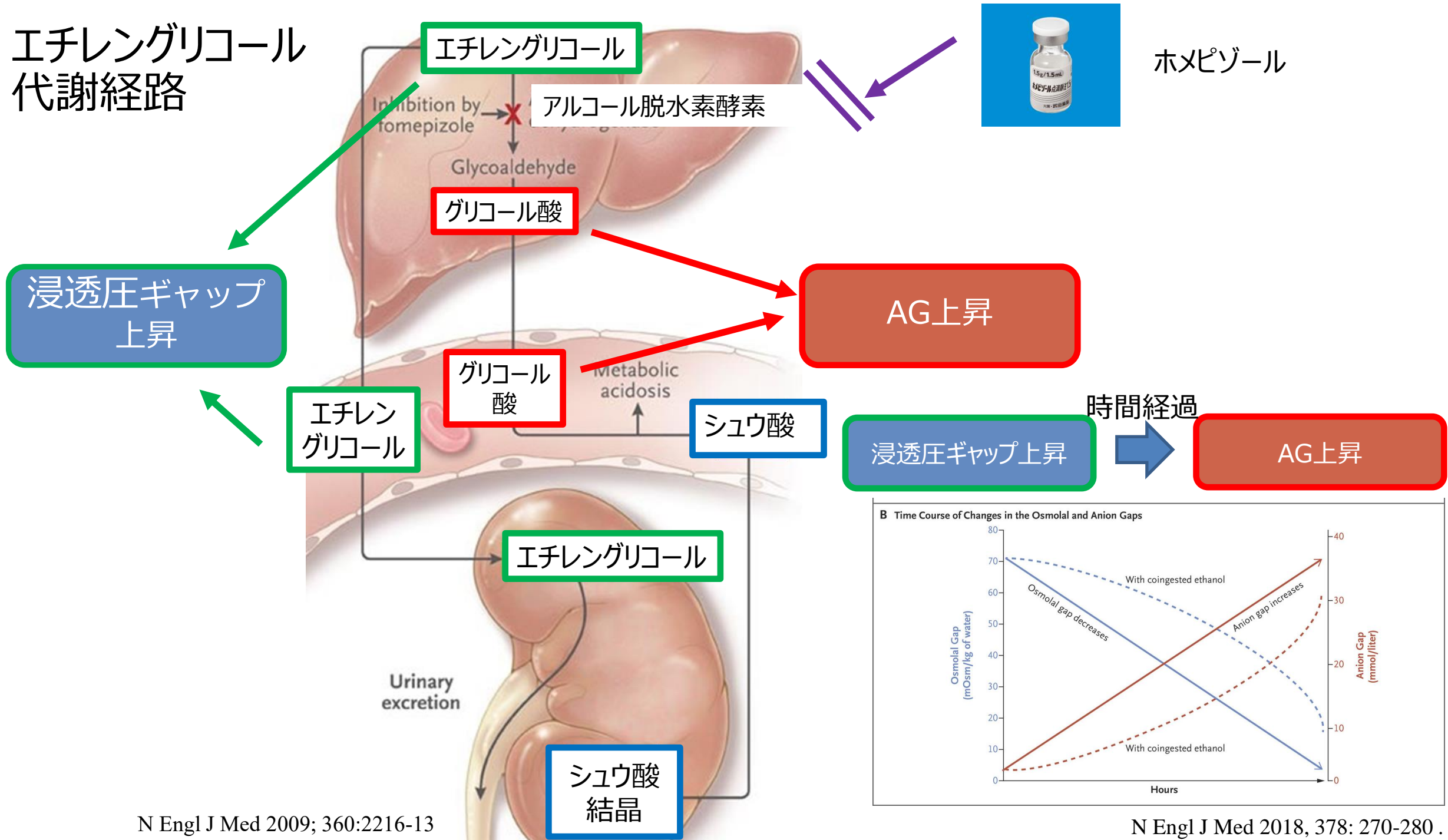
エチレングリコール中毒

アルコール中毒と間違われる

- 原因
 - ほとんどの場合自殺目的で摂取
- 病態生理
 - 代謝されてグリコール酸とシュウ酸になる
 - グリコール酸が蓄積してAG上昇の代謝性アシドーシス
 - シュウ酸が蓄積して急性腎障害
- 臨床所見
 - 神経症状期 (0.5~12時間)
 - 代謝される前のエチレングリコールの直接作用
 - 意識障害、幻覚、運動失調、不明瞭言語
 - 低Ca血症 (シュウ酸Ca)
 - 心血管症期 (12~36時間)
 - グリコール酸による頻脈、低血圧、心不全、ARDS
 - 腎症状期 (24~72時間)
 - シュウ酸Caが尿細管に沈着し尿細管壊死による急性腎障害
 - 腹部症状 (悪心・嘔吐、腹痛)
 - 摂取後4~6時間以内に乳酸やケトンの上昇しないAG上昇の著増した代謝性アシドーシスを来す
- 検査所見
 - 代謝により浸透圧Gapが低下し、AG上昇
 - 浸透圧Gap x 6.2 = 推定エチレングリコール濃度 mg/dL
 - 血液ガスではグリコール酸が誤って乳酸として測定されることがある。
 - 血清Caの低下 (シュウ酸Caが形成・蓄積)
 - 尿沈渣：シュウ酸Ca
 - Wood灯 (紫外線ランプ)
- 治療
 - **ホメピゾール**
 - エチレングリコール濃度 > 20 mg/dL、中毒の現病歴、代謝性アシドーシス、浸透圧ギャップの増加、シュウ酸Ca結晶の存在によりエチレングリコール接種が疑われる場合
 - **血液透析**
 - エチレングリコール濃度 > 50 mg/dL、動脈血pH < 7.3、血清CO₂ (HCO₃) < 15
 - Vit B1・B6、炭酸水素Na

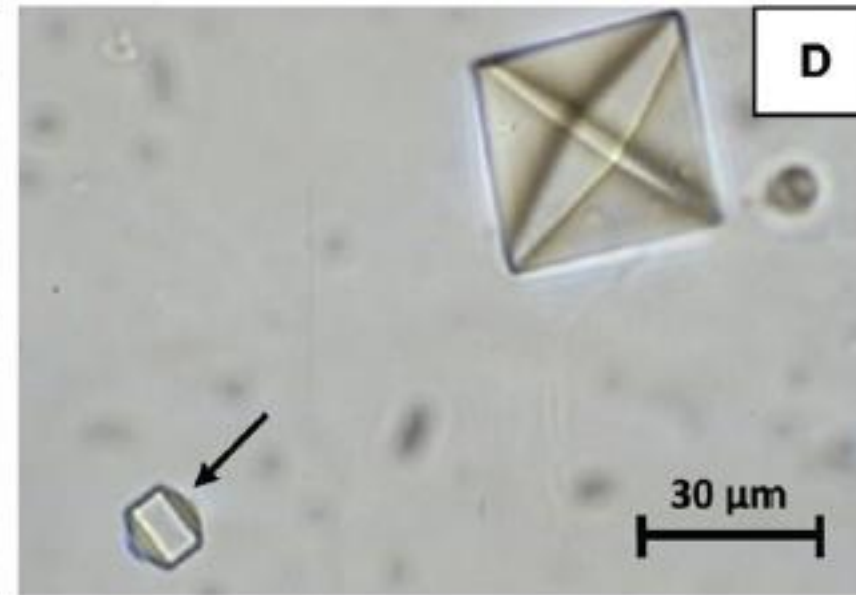
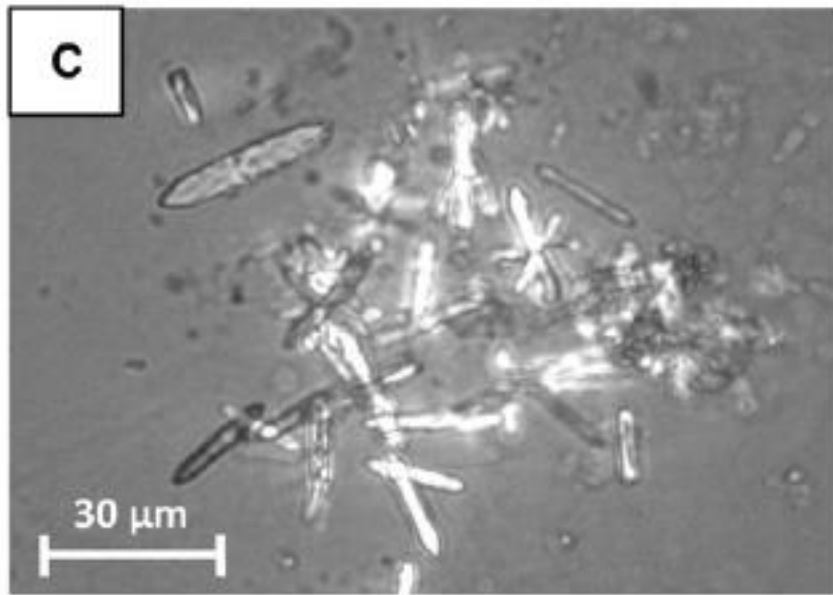
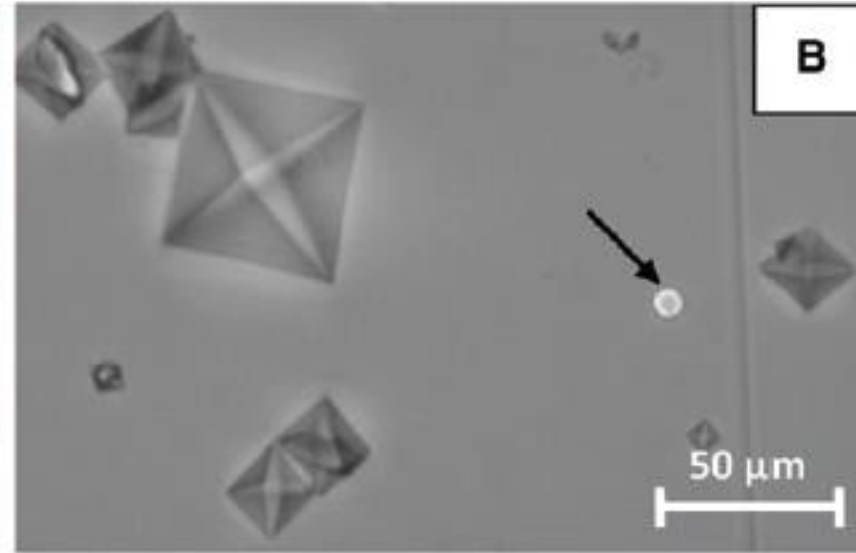
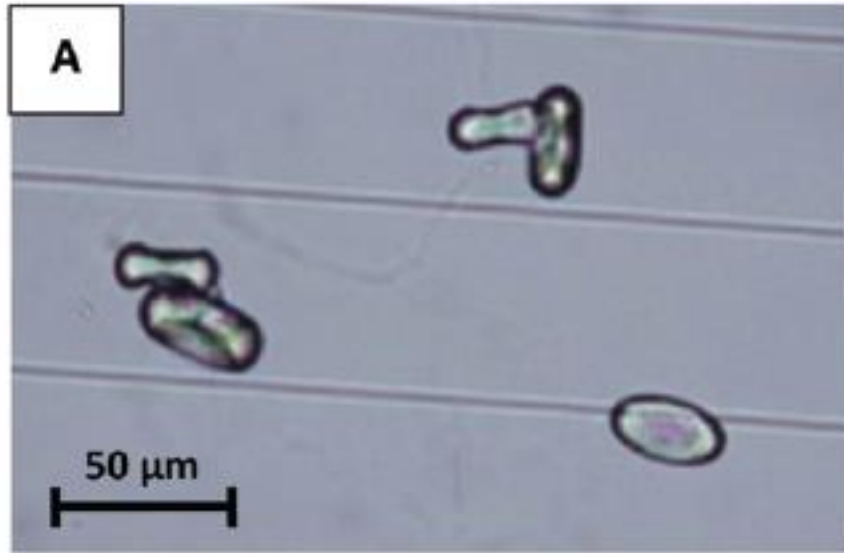


エチレングリコール代謝経路



参考：シュウ酸Ca結晶はどれ？

正解：全て



血液浄化の適応がある薬物中毒 (CAT MEAL)



C	carbamazepine(カルバマゼピン), caffeine(カフェイン)
A	anticonvulsants(抗てんかん薬) : フェノバルビタール, フェニトイン, カルバマゼピン
T	theophylline(テオフィリン)
M	methanol(メタノール) + (ホメピゾール)
E	ethylene glycol(エチレングリコール) + (ホメピゾール)
A	aspirin(アスピリン/サリチル酸塩)
L	lithium(リチウム)

Doctor's Dilemma Competition



WHO GET THE TICKETS?

Doctor's Dilemma Competition

ACP Japan Chapter Annual Meeting 2024

